

平成 30 年 12 月 5 日

農林水産省 平成 30 年度 鳥獣被害対策基盤支援事業

## 地域リーダー育成研修のご案内(開催地:広島県安芸高田市)

主催:株式会社 農文協プロダクション

### ■開催主旨

野生鳥獣による被害は農作物のみならず、営農意欲の減退や耕作放棄の要因ともなっており、鳥獣被害対策の中心的役割を担う人材が求められています。本研修では農家主体・地域主体の鳥獣被害対策を推進する「地域リーダー」を育成することを目的とします。

研修会参加者が各々の地域での鳥獣被害対策に取り入れることができるよう、加害鳥獣の行動・生態に関する正確な知識及び被害対策の基本的な考え方、それを踏まえた効果的な対策手法や全国の取組事例等を紹介し、フィールド研修を含めた実践的な内容とします。

### ■受講対象者 (定員 30 名)

・市町村・集落を担当範囲とした鳥獣被害対策のご担当者、支援に携わる方

(市町村の鳥獣被害対策担当者、JA職員や普及員の現場担当者等を想定しています)

### ■開催日

平成 31 年 1 月 25 日 (金) 10:30~16:00 (※受付 10:00~)

### ■開催場所 安芸高田市役所 会議室

〒731-0592 広島県安芸高田市吉田町吉田 791

### ■研修内容

10:30~12:00 講師 江口祐輔氏 (西日本農業研究センター)

「イノシシを中心とした野生鳥獣から農作物を守る(仮)」

13:30~14:30 フィールド研修 (安芸高田市内)

15:00~16:00 質疑応答

16:00 終了

※講演題目は、変更する可能性があります

## ■ 講師紹介

### 江口祐輔（えぐち・ゆうすけ）

国立研究開発法人 農研機構 西日本農業研究センター

専門：畜産学・草地学（野生鳥獣管理、利用）、応用動物学（行動）

全国各地での鳥獣被害対策研修会や出前授業での講師実績多数。

著書に『イノシシから田畑を守る』（農文協）『イノシシはなぜ田畑に害をあたえるの?』（農文協）『動物による農作物被害の総合対策』（誠文堂新光社）『STOP！鳥獣害～地域で取り組む対策のヒント～』（全国農業会議所）など

## ■ 受講料

無料（会場までの旅費交通費、駐車場料金等は各自ご負担ください）

※当日の配付資料は、参加者のみとなります。郵送など是对応できませんのでご了承ください。

## ■ 持ち物 筆記用具、名刺（名札として使用します）

## ■ 申し込み方法

下記の項目を e-mail または別紙「参加申込み書」に必要事項を記入してお送りください。

メールの場合は必ず件名を「広島県研修会申し込み」と記載ください。

- 1) 氏名（ふりがな）
- 2) 所属
- 3) 住所
- 4) 電話番号
- 5) FAX 番号
- 6) e-mail アドレス
- 7) 参加当日の交通手段
- 8) 地域的に課題となっている鳥獣被害はなんですか？
- 9) 鳥獣被害対策をすすめるにあたって、どのような課題がございますか？
- 10) その他お問い合わせなど

申し込みの締め切りは 1 月 22 日（火）とさせていただきます。

## ■ 申し込み・お問い合わせ

研修会事務局：株式会社農文協プロダクション

担当：吉元（よしもと）・尾形（おがた）・菅野（かんの）

e-mail：chojugai@sinseisaku.co.jp

TEL：03-3584-0416 FAX：03-3584-0485

住所：107-0052 東京都港区赤坂 7-5-17

事務局 株式会社 農文協プロダクション (吉元・尾形・菅野) 行き

FAX : 03-3584-0485

農林水産省 平成30年度 鳥獣被害対策基盤支援事業  
「地域リーダー育成研修(開催地:広島県安芸高田市)」

参加申込書

下記にご記入のうえ、1月22日(火)までに事務局まで  
FAX または郵送でお申し込みください

ふりがな			
氏名			
所属			
住所	〒		
TEL		FAX	
E-mail			

事前質問にお答えください。研修会の参考にいたします。

地域的に問題となっている鳥獣被害はなんですか (該当するものに○をつけてください)

サル イノシシ シカ アライグマ ハクビシン タヌキ  
アナグマ カラス その他 ( )

鳥獣被害対策をすすめるにあたって、どのような課題がございますか

通信欄